

取扱説明書

モノタロウ 手動軽量チェーンブロック

注文コード: 70563167/70563176

このたびは、手動軽量チェーンブロックをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

仕様	注文コード 70563167	70563176
材質	合金鋼	
定格荷重 (t)	0.5	1
ハンドチェーン寸法	5×15	6×18
ロードチェーン等級	等級8・等級T	等級10・等級V
標準揚程	2.5	2.5
質量	7.3	10.5



定格荷重 (t)	
70563167	0.5
70563176	1

安全にお使いいただくために

本製品を正しく取り扱わないと、傷ないし死亡、さらには財物損壊を招くおそれがあります。本製品の据え付け、操作、点検のいずれかを行う前には必ず本書を熟読し、ご理解の上、ご使用ください。本書は、保守・点検の際に必要になりますので、大切に保管してください。本書では、注意事項を「危険」、「警告」、「注意」の三つに区分しています。本製品の知識、安全の情報、および注意事項を熟読し、正しく使用してください。

△ 危険

この表示内容を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が切迫して想定される内容をしめしています。

△ 警告

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。

△ 注意

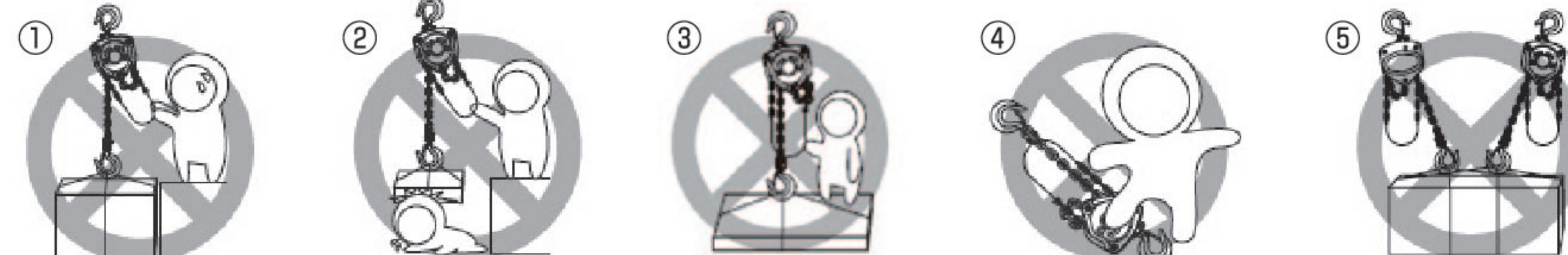
この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

取扱全般

△ 危険

- 本書の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 本来の目的以外の用途では使用しないでください。
- 使用前に必ず周囲の安全を確認してから使用してください。
- 定格荷重以上の荷重は絶対に加えないでください。(下図①)
- 吊り荷の下や、吊り荷の動く範囲には絶対に入らないでください。また、人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。(下図②)
- 本製品は、人の持上げ、支持、搬送のいずれにも使用しないでください。(下図③)
- 脚で操作したりしないでください。(下図④)
- 複数のチェーンブロックで共吊りしたりしないでください。(下図⑤)

- 損傷があったり、異常音がするチェーンブロックを使用しないでください。
- ロードチェーンのねじれ、もつれ、亀裂、かみ合いに異常があったり、規定より伸びているもの、摩耗が激しいものは使用しないでください。
- 本製品および付属品の改造は絶対にしないでください。



ご使用前の注意

△ 注意

- 銘板の記述はすべて、はっきりと見えるようにしてください。
- チェーンブロックは、日常使用の前に「日常点検」に従って点検してください。
- 定格荷重を持つチェーンブロックを選ぶようにしてください。
- フックが変形していないこと、フックがスムーズに回転することを確認してください。
- ブレーキシステムの動作が正常であることを確認してください。
- フックの外れ止め金具が破損している場合は絶対に使用しないでください。

- ロードチェーンに潤滑油を注してください。
- 雨や水がかかる場所や、不適当な化学薬品等の特殊環境下では使用しないでください。
- 作業に必要な揚程が十分であることを確認してください。
- チェーンブロックの移動範囲全体がはっきりと見通せる場所で安全を確認してから操作してください。
- 据えつけは、専門業者・専門知識のある人以外は絶対に行わないでください。
- 据えつけは、自由に揺れ動くように吊り上げてください。

ご使用中の注意

△ 警告

- ねじれ、もつれ、傷み、伸びのいずれかが生じているロードチェーンは絶対に使わないでください。(下記図⑥)
- フックをスリングとしては使わないでください。(下記図⑦)
- チェーンブロックを支持具として使わないでください。(下記図⑧)
- 荷をフックの先端で支えないでください。(下記図⑨)
- ロードチェーンを鋭利なものに接触させないでください。(下記図⑩)
- 吊り荷に溶接・切断しないでください。(下記図⑪)
- 吊った荷には乗らないでください。
- 人の手引き力以外での操作はしないでください。
- 荷を吊った状態で操作位置を離れないでください。
- 斜め引きをしないでください。荷の真上に本製品を移動させてから吊上げてください。
- 建屋、構造物に引っ掛ける操作などをしないでください。
- 吊り荷の反転作業はしないでください。
- 操作中は荷と周辺から注意をそらさないでください。
- 使用前に手鎖の動作を確認し、円滑に作動しないときは使用しないでください。
- 使用前にブレーキの動作を確認し、ブレーキが確実に作動しないときは使用しないでください。
- 宙吊りした荷を電気溶接しないでください。
- ロードチェーンに溶接機のアースを接続しないでください。
- ロードチェーンに溶接用電極を絶対に接触させないでください。
- 巻き上げの際は、ロードチェーンが張ったところで一度停止してください。
- 損傷したチェーンブロック、および正常に動作しないチェーンブロックは使わないでください。
- 吊した荷は揺らさないでください。



保守・点検について

△ 危険

- 保守点検、修理は、必ず事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 強度を弱め破損するおそれがあるので、チェーンの熱処理、曲げ加工、切断、継ぎ足し、溶接は絶対に行わないでください。
- 保守点検は、必ず吊り荷がない状態で行ってください。
- 異常が見つかったときは、そのまま使用しないでください。
- 保守点検のときは、『点検中』などの表示をして実施してください。

日常点検

項目	方法	廃棄基準	処置
銘板	目視点検	すべての記述がはっきりと見えること。	銘板を交換する。
機能		チェーンブロックの手鎖ホイールサイドに向かって時計回りに手鎖を引っ張ったときに荷が引き上げられ、反時計回りに手鎖を引っ張ったときに荷が弓き下げられること。荷を引き上げているときにツメが「カチッカチッ」と鳴れば、正常に動作しています。	必要に応じて修理または交換を行う。
フック	目視点検	摩耗、変形、損傷のいずれも生じていず、スイベルがスムーズに回転すること。	交換する。
フックのラッチ	目視点検	変形も危険な欠陥も生じていないこと。	当該部品を交換する。
ロードチェーン	目視点検	明らかな錆も腐蝕も生じていないこと。	ロードチェーンに潤滑油を注す。
		表面が潤滑されていること。	ロードチェーンを交換する。
その他	目視点検	ナットも割りピンも無くなっていること。	当該部品を交換する。
		チェーンブロックの表面に欠陥も損傷も生じていないこと。	
		チェーンストッパーが無くなっていること。	

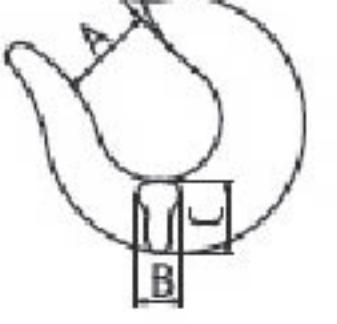
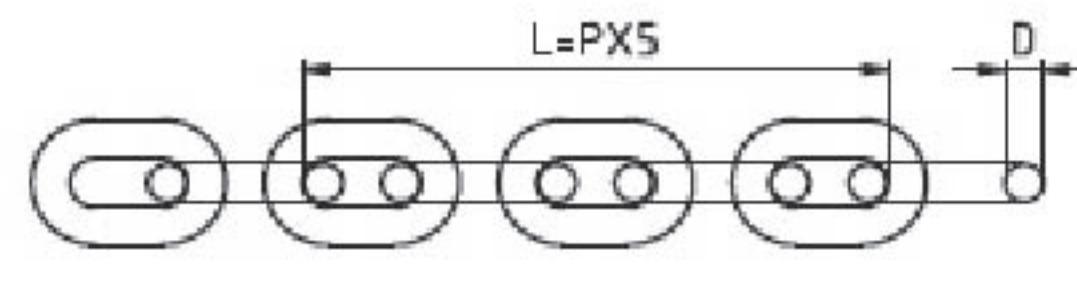
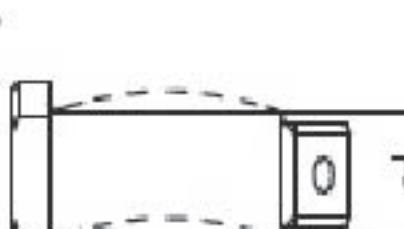
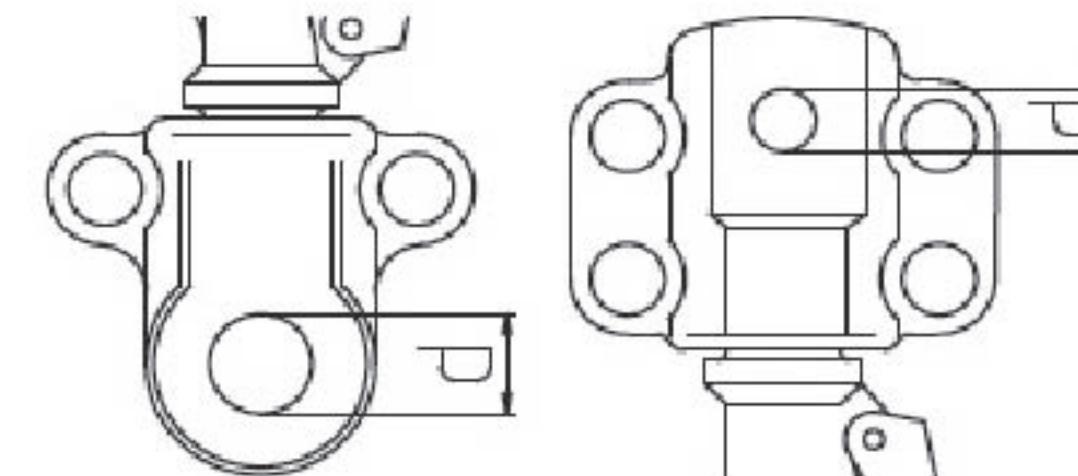
定期点検

※定期点検は、以下の期間ごとに所定の手順に則って実施しなければなりません。

通常使用の場合:6か月ごとに点検する。

使用頻度の高い場合:四半期ごとに点検する。

使用頻度が極めて高い場合:毎月点検する。

項目	方法	廃棄基準	処置
1. フックアッセンブリー	測定	新品時の A 寸法を測定する。  定格荷重 (t) A *(mm) B(mm) C(mm) 通常 基準 限界 基準 限界 0.5 25.0 15 ≤ 14.3 19.3 ≤ 14.3 1 30.0 18 ≤ 17.1 25.1 ≤ 17.1	*この寸法は公差の規定ができないため、各値は公称値です。A 寸法は、フックが新品のときに測定しなければなりません。A 寸法は、購入時に測定・記録した値の 1.05 倍を超えてはなりません。 交換する。
		1.2 欠陥 目視点検 著しい錆、溶接カス、深い傷、溝のいずれも生じていないこと。	
		1.3 回転 目視点検と機能 スムーズに回転すること。	
		1.4 フックのヨーク リベット、ナット、ボルトのいずれについても、緩んでいず、無くなっていないこと。	
		1.5 フックのラッチ 目視点検 位置が適切であり、かつスムーズに動作すること。	
2. ロードチェーン	測定	 定格荷重 (t) L(mm) D(mm) 基準 限界 基準 限界 0.5 75.0 ≥ 77.0 5.0 ≤ 4.5 1 90.0 ≥ 92.5 6.0 ≤ 5.4	交換する。
		2.2 欠陥、変形 目視点検 ねじれもなく、危険な欠陥もないこと。	
3. 下フックのピン	目視点検、測定	2.3 錆 明らかな錆の生じていないこと。	錆を落として、チェーンに潤滑油を注す。
		3.1 ねじれ、変形 フックピンは、明らかに変形している場合は交換すること。 フックピンのネジ山に欠陥も変形も生じていないこと。  定格荷重 (t) D(mm) 基準 限界 0.5 6.0 ≤ 5.7 1 7.0 ≤ 7.1	
		3.2 錆 明らかな錆の生じていないこと。	
4. 上下のフックのピンホール	測定	 定格荷重 (t) 直径 (mm) 下フックのピンホール 上フックのピンホール 0.5 6.5 ≥ 6.9 10.5 ≥ 11.0 1 7.5 ≥ 7.9 12.5 ≥ 13.1	フックアッセンブリーを交換する。
5. ブレーキシステム	目視点検	5.1 錆 どの部品にも錆が生じていないこと。	錆を落とすか、各部品に潤滑油を注すか、交換する。
		5.2 摩擦板の欠陥 危険な欠陥のないこと。	
	測定	5.3 摩擦板の摩耗 一様な厚みが保たれていること。摩擦板の摩耗が 0.5mm を超えてはならない。	
		定格荷重 (t) 摩擦板の厚み (H) 基準 限界 0.5 ~ 3 8.5mm ≤ 8mm	
		5.4 摩擦板の平坦度 ゲージでクリアランスを確認する。クリアランスは一様でなければならぬ。内部が外部よりも厚くてはならない。	
6. リフティングシステム	目視点検	5.5 ツメ 表面が摩耗していないこと。	交換する。
		5.6 ツメバネ 変形していないこと。	
		5.7 ラチケット板 ラチケット板の外径 A を測定する。  定格荷重 (t) 直径 A (mm) 基準 限界 0.5 55.0 ≤ 53 1 72.0 ≤ 70	
6. リフティングシステム	目視点検	6.1 ロードシーブ 著しい摩耗も変形も生じていないこと。	交換する。
		6.2 ギヤ 摩耗も欠陥も歯に生じていないこと。	
		6.2 ギヤボックス 摩耗も欠陥も生じていないこと。	
		6.3 ハンドホイール 著しい摩耗も変形も手鎖ポケットの表面に生じていないこと。 ハンドホイールを回し、カバーに接触するかどうかを確かめること。	
7. 本体	測定	7.1 サイドプレートの上フックピンホイール 定格荷重 (t) 寸法 D を測定する。 D1 (基準) D (限界) 0.5 10.5 ≤ 11 1 12.5 ≤ 13	交換する。
		上フックピンの外径を測定する。 定格荷重 (t) D (限界) 0.5 D ≤ 9 1 D ≤ 11.5	
	目視点検	7.3 ガイドプレート 摩耗も変形も生じていないこと。	
		7.4 チェーンストッパーリング 摩耗も変形も生じていないこと。	
8. 機能	8.1 巻上げ、巻下げ 巻上げ、巻下げの作業が異常なほど困難ではないこと。	修理、点検を行う。	
	8.2 ブレーキ 軽い荷の巻上げと巻下げを行う。 (1) 巻上げることができない。 (2) 荷がゆっくりと滑り降りてくる。 (3) 操作者がハンドレバーを放したときに荷が落下する。		